

学校現場から寄せられた教育大綱（案）に対する意見を踏まえた修正（案）について

資料2

重点方針		1	現在（案）	●デジタル化時代新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進				
各施策（項目）		目標とする方向性（修正意見）			学校名	事務局の考え方	対応策	教育委員会での結論
表題			・「デジタル化時代」→「新たな時代（Society5.0）」	小学校	一足飛びすぎるので「デジタル化」のままとします。	修正しない	時代背景に鑑み「新たな時代（Society5.0）」に	
			・「国際社会で活躍する人材」→「新たな価値を創造できる人材」	小学校	国の教育振興基本計画に合わせ「国際社会」のままとします。	修正しない		
①	○「知・徳・体」を育成する、バランスのとれた教育を推進し、自ら課題を発見し、自ら解決することができる能力を育みます。  【修正案】 ●「知・徳・体」を育成する、バランスのとれた教育を推進し、自ら課題を発見し、自ら解決することができるために必要な資質・能力を育みます。	・家庭教育を更に充実させ、徳育を進めることで、ネグレクトやDVの防止に努める。		小学校	実施計画として検討	修正しない		
		・前半と後半では、教育のレベルが違う。（前半は、人格形成につながるもので、後半は、必要とされる能力の一つではないか。）		中学校	全体バランスを養うことで、これからの社会に必要な能力を身につけて行くことを目標としている。	修正しない		
		・「能力」→「資質・能力」		小学校		修正		
		・「自ら課題を発見し、自ら解決する」→「自ら課題を発見し、解決する」		中学校	「自ら」が重複するので、後の「自ら」を削る。	修正		
		・「バランスのとれた教育」→「知・徳・体のバランスのとれた育成」		中学校		修正		
②	○情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくための情報活用能力や情報倫理を身に付け、ICTを最大限に活用することで、デジタル化時代を切り拓いていける子どもたちの資質・能力の育成を目指します。  【修正案】 ●情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくための情報活用能力や情報倫理を身に付け、ICTを最大限に活用することで、デジタル化時代新たな時代（Society5.0）を切り拓いていくことができる子どもたちの資質・能力の育成を目指します。	・「デジタル化時代」→「新たな時代（Society5.0）」		小中学校	一足飛びすぎるので「デジタル化」のままとします。	修正しない	時代背景に鑑み「新たな時代（Society5.0）」に	
		・最初の部分は、ICTを活用する上で前提となる部分であるため省略してもよいのではないか。		中学校	前半部分はICT活用の前提であるが、この前半部分も方向性として取り入れたいので、原案のとおりとする。	修正しない		
		・ICTを最大限に活用することに固執しているように感じられ、違和感を感じる。		中学校	めざすべき方向性として「固執」している。	修正しない		
		・「デジタル化時代を切り拓いていける」→「デジタル化時代を切り拓いていくことができる」		中学校		修正		

③	<p>○対面での授業・校外での体験も大切にし、対面型とオンライン型学習をベストミックスで取り入れた「今治型教育モデル」を確立していきます。</p> <p><b>【修正案】</b>  <b>●対面での授業や校外での体験を大切にし、対面型学習とオンライン型学習をのベストミックスで取り入れたを図った「今治型教育モデル」を確立していきます確立し、授業の質の向上に努めます。</b></p>	<p>・ハイブリッド型が当たり前の時代になるので、「今治型…」という必要はない。</p> <p>・「今治型教育モデル」を現段階では「教育モデル」とする。</p> <p>・オンラインと対面式授業を組み合わせたハイブリッド学習を取り入れ、学習効果を高める授業の在り方を探っていく。</p> <p>・対面型とオンライン型学習の融合がイメージできない。学習方法として別のものに思う。→対面での授業・校外での体験も大切にし、オンライン型学習を取り入れるなど、ICTを積極的に活用していきます。</p> <p>・ICTを活用した授業、校外での体験的な学習も大切に「今治型教育モデル」を確立していきます。</p> <p>・「今治型教育モデル」というワードはイメージがわからない。</p> <p>・「今治型教育モデル」を確立→ここまで大きく打ち出すと、上記モデルの具体像の提示を求められるのではないかと…。</p> <p>・「今治型」の特徴を出すのは難しいのではないかと。</p> <p>中教審答申では原案「ベストミックス」の所を「ハイブリッド化」と表しています。</p>	小中学校	<p>「ハイブリット型」でのやり方も様々あるので、その中でも最も適した学習方法の確立・実現を目指していきたい。そのため、「ベストミックス」の文言を用いており、「ベストミックス」した学習方法を「今治型教育モデル」と位置づけたい。</p>	修正しない	
		<p>・「確立していきます」→「授業を創造していきます」（インパクトは弱まりますが…。）</p>	小学校	「確率する」ことも目標の一つとしています。	修正しない	
		<p>・「対面での授業・校外での体験も」→「対面での授業や校外での体験を」</p>	中学校		修正	
		<p>・従来から築いてきた教育と適切なICT活用をベストミックスした学校教育を推進していきます。（もしくは、「オフライン型学習とオンライン型学習をベストミックスした」）</p> <p><b>【意見】</b></p> <p>・「対面での授業・校外での体験も大切にし、」はどこにつながるのかが分かりにくい。</p>	小中学校		修正	
		<p>・「対面での授業・校外での体験も」→「対面での授業や校外での体験を」</p>	中学校		修正	

④	○教職員一人ひとりのICT活用指導力の向上を目指し、切れ目ない研修の実施と、優良事例の横展開を図り、ICT授業マスターの育成に努めます。  【修正案】 ●教職員一人ひとりのICT活用指導力の向上を目指し、切れ目ない研修の実施と、優良事例の横展開を図り、した研修を充実し、ICT授業マスターの育成に努めるとともに、ICT活用事例の提示や優良事例の横展開を図ります。	・「教職員一人一人のICT活用指導力の向上を目指すために、ICT授業マスターを活用した切れ目ない研修の実施と、優良事例の横展開を図ります。」くらいが良い。	小学校	ICTマスターの育成を目標の一つとしていることをご理解ください。	修正しない	
		・「ICT支援員によるICT活用例の提示」が入るとよい。	小学校	実施計画として検討	修正しない	
		・「切れ目ない研修の実施」の「切れ目ない」の意味が分かりにくい。今の教員の負担を考えて可能なのか不明。	小学校		修正	
		・「教職員一人ひとりのICT活用指導力の向上を目指した研修を充実させるとともに、優良事例の横展開を図ります。」 【意見】 ・「切れ目ない」は、通常、特別支援教育等で支援の継続に関して使用されているため、「切れ目ない研修の実施」という使い方に違和感を覚える人は多いのではないかと。 ・「研修の実施、優良事例の横展開を図る」と「ICT授業マスターの育成」は別のもではないかと。（育成したICT授業マスターを活用して、優良事例の横展開を図ったり、各学校における研修の充実につなげたりするのではないかと。）	中学校	「研修によるICTマスターの育成」と「活用事例の提示や優良事例の横展開」の2段階構成とする。	修正	
⑤	○異文化に触れ合う機会を拡充し、我が国や諸外国の伝統・文化について関心や理解を深めるとともに、グローバル化に適応できる英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成していきます。  【修正案】 ●異文化に触れ合う機会を拡充し、我が国や諸外国他の国・地域の伝統・文化について関心や理解を深めるとともに、グローバル化に適応できる英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成していきます。	・「ALT（外国語指導助手）やICTの効果的な活用を図りながら、グローバル化に～」	小学校	実施計画として検討	修正しない	
		・「異文化に触れ合う機会を拡充し、我が国や諸外国の伝統・文化について関心や理解を深めるとともに、実践的な英語力の向上やグローバルな視野を養う教育を推進します。」	中学校	実践的な英語力の向上」「グローバルな視野を養う」は実施計画として検討	修正しない	
		・「諸外国」という表現では、「主権国家でない地域を含まない」と誤解が生じるので「国・地域」の方が望ましい。	中学校		修正	

### 学校現場から寄せられた教育大綱（案）に対する意見を踏まえた修正（案）について

重点方針	2	現在（案）	<p>●誰一人取り残すことのない学校教育の実現                  【修正案】●誰一人取り残すことのない<b>学校教育学び</b>の実現</p>				
			<p>経済的理由等により就学困難な子どもや、障がいのある子ども、不登校の子どもなど、特別な配慮を必要とする子どもが増加する中で、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、社会の担い手となれるよう、学習支援を充実させていきます。</p> <p>【修正案】                  経済的理由等により就学困難な子どもや、障がいのある子ども、不登校の子ども、<b>多様な性自認に悩む子どもなど</b>、特別な配慮を必要とする子どもが増加する中で、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、社会の担い手となれるよう、<b>学習支援を充実させていきます</b> 学校・家庭・地域・関係団体が連携を密にし、心と体の居場所の提供や学習支援を図ります。</p>				
各施策（項目）			多様な性自認に悩む子どもたち	学校名	事務局の考え方	対応策	教育委員会での結論
表題			・「学校教育の実現」→「学びの実現」 【意見】 ・誰一人取り残すことのない教育は、学校教育だけでは成し得なくなっているのが日本の（今治市の）現状。家庭教育や社会教育など、社会全体で具現化していく必要がある。	小学校		修正	
方向性					最後の「その他の意見」を受けて修正	修正	
①	○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の、教育や心理・福祉の専門家を各中学校区に配置することで、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実を図ります。		・児童虐待防止に向けた関係機関との連携強化、学校だけでは対応が難しい生徒指導上の課題との関連も指摘される背景や要因といった困難を抱える児童生徒への包括的な支援の充実を図るとともに、スクールロイヤー等を活用した法務相談体制の整備を図る。	小学校	「スクールロイヤー」は実施計画として検討	修正しない	

②	<p>○特別支援コーディネーター等を中心に、教育相談や校内支援体制を構築するとともに、<b>学習アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより、一人ひとりの発達特性を把握し、子どもや家庭のニーズに応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。</b></p> <p><b>【修正案】</b>  <b>●特別支援教育コーディネーター等を中心に、教育相談や校内支援体制を構築するとともに、学習アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより、一人ひとりの発達特性を把握し、子どもや家庭のニーズに応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。</b></p>	<p>・「～構築するとともに、学習アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより」→「～構築するとともに、学習・生活アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより」</p>	小学校	「生活アシスタント」という職はありません。	修正しない	
		<p>・特別支援教育における教職員の資質の向上</p>	中学校	必要なことですが、ここでは、組織体制の充実に特化していることをご理解ください。	修正しない	
		<p>・障がいの状態や発達の段階に応じた指導・支援の充実と早期の段階からのキャリア教育の推進により、自立と社会参加を推進する。</p>	中学校	そのために専門家の配置を充実する指針としています。	修正しない	
		<p>・「特別支援コーディネーター」→「特別支援教育コーディネーター」</p>	小中学校		修正	
③	<p>○不登校児童生徒に対して、再登校や進学・就職などの自立を目指して、教育相談や適応指導を行うとともに、ICTを活用した学びの保障の新たなスタイルを構築していきます。</p> <p><b>【修正案】</b>  <b>●不登校児童生徒に対して、再登校や進学・就職などの自立を目指して学校復帰や社会的自立に向けて、教育相談や適応指導を行うとともに福祉・医療諸機関と連携しながら教育相談や適応指導を行うとともに、ICTを活用した学びの保障の新たなスタイルを構築していきます。</b></p>	<p>・「不登校支援の教員を各校に配置して」を追記する。</p>	小中学校	各校配置は現実難しいことをご理解ください。	修正しない	
		<p>・「地域に、相談施設を設けることにより、保護者や児童・生徒の心の健康の推進を図る。」を追記する。</p>	小学校	地域の相談施設が学校関係だけが対象となれば教育大綱の位置づけることは出来ないことをご理解ください。	修正しない	
		<p>・家庭のICT環境の整備等、教育環境の格差を是正できるよう支援することを明記する。</p>	中学校	実施計画として検討	修正しない	
		<p>・「再登校や進学・就職などの自立を目指して」を「学校復帰や社会的自立に向けて」にする。</p>	中学校		修正	
		<p>・再登校…とは、どういうことか、具体的に示した方が良いと考えます。</p>	中学校		修正	
	<p>・「教育相談や適応指導を行うとともに」→「福祉・医療諸機関と連携しながら教育相談や適応指導を行うとともに」</p>	小学校		修正		

●その他 重点方針2に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインやトランスジェンダーについて触れてほしい。</li> </ul>	中学校	実施計画として検討	修正しない	「多様な性自認に悩む子どもたち」を方向性に追記
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門機関との連携」や「人材の確保」という文言追記してほしい。</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の人員のみで実現させるのはかなり無理がある。</li> </ul>	小学校	方向性の部分を修正	修正	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が拍車をかける形で、今治市内でも家庭での虐待（身体的／心理的／性的／ネグレクト）が増加しています。暴力や暴言により子どもたちの心身を痛めつける親、子どもに関心を持たず（持てず）食の提供に極端な偏りのある親、子どもを学校に行かせる意思が感じられない親など、その実態は様々です。また、いわゆるヤングケアラーと呼ばれる子どもたちも見られます。こうした子どもたちに「安全・安心の確保」「心と体の居場所の提供」「食の提供」「学びの提供（学習支援）」を行っていくことは急務です。今治市内にも地元企業・スーパー・塾・ボランティア等の支援を仰ぎながら「地域食堂（食の提供／学習支援）」の取組を重ねている地域があります。「重点方針2」の中で、こうしたことにも視点を当てた記述（表現）を加えてみてはいかがでしょうか。</li> </ul>	小学校	方向性の部分を修正	修正	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子どもやその保護者が、乳幼児期から社会に出るまで、地域で切れ目のない支援が受けられるような体制づくりをするという視点をに入れてほしい。</li> </ul>	中学校	方向性の部分を修正	修正	

### 学校現場から寄せられた教育大綱（案）に対する意見を踏まえた修正（案）について

重点方針		3	現在（案）	●安全安心と学びを充実させる教育環境の整備					
				学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保に努めるとともに、新時代の学びを支える教育環境の充実を図ります。社会教育施設等についても、安全で快適な教育環境を整えていきます。					
各施策（項目）		目標とする方向性（修正意見）		学校名	事務局の考え方	対応策	教育委員会での結論		
①	○教育現場のICT化や、老朽化の進んだ校舎・屋内運動場等の改修、トイレ洋式化等、安全安心と学びを充実させる教育環境（ハード面）の整備を推進します。	・「〇〇や、〇〇、特別教室へのエアコン設置等」の文言を追記してほしい。 【意見】 ・学校図書館を含めた特別教室は、夏場扇風機等を使用しても、常時30度を超える中で授業を行っている。		小学校	具体的な教室名の記載は難しい。	修正しない			
		・「エアコンの全教室への整備」を明示する。		小中学校	全室対応の記載は難しい。	修正しない			
		・「安全安心と学びを充実させる教育環境」→「特別教室へのエアコン設置、車イス用トイレ、スロープの設置等、安全安心と学びを充実させる教育環境」		中学校	同上	修正しない			
		・「トイレ洋式化等、安全安心と学びを充実させる教育環境（ハード面）の整備を推進します。」→「トイレ洋式化等、安全・安心で充実した教育環境の整備に努めます。」		中学校	より強く進めたいので「努める」ではなく「推進する」を用いることとします。	修正しない			
		・バリアフリーやユニバーサルデザインなどの具体策を示した方が良いと思う。		中学校	実施計画として検討	修正しない			
②	○新しい生活様式の習慣化を図るとともに、新しい生活様式に対応した学校の環境整備を進めていきます。	・「新しい生活様式」を簡単に言うことは難しいが、この言葉だけでなく、具体的な記載が欲しい。 「新しい生活様式」とは何かを示す。		小学校	特に具体例は必要ないと考えます。	修正しない			
		・この項目は疑問？（いるのか）		中学校	今の時代に必要と考えているため原案のままとします。	修正しない			
		・「学校の環境整備」とはどのような内容なのか、明示した方が良いと思う。		中学校	ソフト・ハードの両面からの整備の意味です。具体的な事項は施策に落とし込みます。	修正しない			

③	○外部人材の参画や、 <b>統合型校務支援システム及び学習支援システム等を積極的に活用することにより</b> 、学校における働き方改革を着実に実施し、教職員の負担軽減を図ります。	・教員の担うべき仕事を明確にすることが必要である。	小学校	方針として示す内容のものではないと考えます。	修正しない	
		・「スクールサポートスタッフ」を追記する。 【意見】 ・外部人材の参画がもう少し具体的なものにならないか。	小学校	部活動、学習支援、不登校支援等各種分野があるので、特に例示しないこととします。	修正しない	
		・「課外活動の社会体育への移行」を追記する。	小学校	コロナ禍において社会体育への移行が難しいため時期尚早と考えます。	修正しない	
		・「リモートワーク」を追記する。	小学校	教職員のリモートでの働き方の研究を進めたうえでの検討が必要です。	修正しない	
		・「統合型校務支援システム及び学習支援システム等を積極的に活用する」→「統合型校務支援システム及び学習支援システム等を効果的に活用する」	中学校	まずは利用率を上げるために「積極的」のままとします。	修正しない	
		・方針の説明では、施設面のことに特化した記述がされているため、それ以外の項目を削除した方が分かりやすい。	中学校	方針説明の「教育環境」はハード面に限らない意味で用いています。	修正しない	
		・「教員が子どもと向き合う時間の確保」といった内容を含めてほしい。	中学校	本当は、「子どもと向き合う時間を確保」するため効率化を進めますが、ここでは、教職員の長時間労働の解消と負担軽減に留めることといたします。	修正しない	
		・部活動における働き方改革の視点を示す必要がある。学校の夜間体育施設利用貸し出し窓口は、教職員ではなく、民間に委託してほしい。	中学校	学校施設の管理の問題があるので軽々に決めれない。	修正しない	



④	○教職員に対する各種研修の充実を図り、一人ひとりの専門知識・能力や倫理観の向上を目指します。	・「研修を受ける環境を整え」のような文言を追記してほしい。（やる気が出ます。）	小学校	実施計画として検討	修正しない	
		・この項目の主体は何か？何の各種研修を指しているのか？	中学校	主体は今治市ひいては今治市教育委員会です。職務に関し必要な各種研修です。	修正しない	
		・方針の説明では、施設面のことに特化した記述がされているため、それ以外の項目を削除した方が分かりやすくなるのではないかと。	中学校	方針の説明の「教育環境」は施設面に特化した意味で用いていません。	修正しない	
⑤	○少子化が進行する中、今後の学校の在り方について、子ども達のより良い学びの環境づくりの視点から検討していきます。また、多様な人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育活動を実施するため、小中一貫教育を視野に入れながら、保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。 <b>【修正案】</b> <b>●少子化が進行する中、今後の学校の在り方について、子ども達たちのより良い学びの環境づくりの視点から検討していきます。また、多様な人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育活動を実施するため、小中一貫教育を視野に入れながら、保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。</b>	・少子化が進んでも、子どもたち一人一人の学びの保障や豊かな人間関係作りは大切である。「少子化・・・検討していきます。」の前の部分を削除し、「子どもたち一人一人のより良い学びの環境づくりを目指します。」	小学校	学校の適正配置の観点から項目建てしていることをご理解ください。	修正しない	
		・「小中一貫教育を視野に入れながら、保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。」→「小中一貫教育を視野に入れながら、ICT等を活用することで保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。」	小学校	ICT等の活用による連携もあるが、連携の分野や連携の方法など今後検討が必要です。	修正しない	
		・「多様な人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育活動を実施するため」→「広い視野に立った教育活動を実施するため」	中学校	学校での集団行動の意味合いがあるので「多様な・・・」の部分は原案のとおりとする。	修正しない	
		・方針の説明では、施設面のことに特化した記述がされているため、それ以外の項目を削除した方が分かりやすくなるのではないかと。	中学校	方針の説明の「教育環境」は施設面に特化した意味で用いていません。	修正しない	
		・具体策を示した表現が良いと思う。	中学校	様々な角度から検討していくため具体策の例示は難しいことをご理解ください。	修正しない	
		・「子ども達」→「子どもたち」	中学校	修正する。	修正	

⑥	<p>○子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する態度を育成するため、防災や交通安全等に関する教育を推進していきます。</p> <p><b>【修正案】</b>  <b>●子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する態度を育成するため、防災や交通安全等、交通安全、感染症対策等に関する教育を推進していきます。</b></p>	<p>・「子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する態度を育成するため、防災や交通安全等に関する教育を推進していきます。」→「防災教育や交通安全教育など安全教育に関する教育を通じて、子どもたちに自らの命を守ろうとする主体的な態度を育成します。」</p> <p><b>【意見】</b>                  ・定期的な避難訓練を今後も継続して行っていく。交通安全に関する教育（特に自転車の利用について）を強化する必要がある。</p>	中学校	前半の「子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する」は、子どもたちが「主体的に」行動する意味です。	修正しない	
		<p>・「防災や交通安全等に関する教育を推進していきます。」→「防災や交通安全等に関する施設を設置し、体験を通じた教育を推進していきます。」</p> <p><b>【意見】</b>                  ・命の学習は見学や体験に基づいた学習も大切なので、松山市や新居浜市のような防災センター（体験施設）の設置が望まれる。</p>	小学校	体験施設は教育施設でないため、教育大綱で定める事項になじまないと考えます。	修正しない	
		<p>・「防災や交通安全等」→「防災や防犯、交通安全等」</p>	中学校	例示が多くなりすぎるので、「感染症対策」を盛り込みことに留めます。	修正しない	
		<p>・「感染症対策」も視野に入れた健康教育にも触れておくと良いと思う。</p>	小学校		修正	

⑦	○安全安心な地域の拠点施設及び避難場所等として、公民館等の教育施設の適切な維持・管理に努めるとともに、地域の関係機関と連携した、通学路の安全点検や見守り活動等、子どもたちの安全を確保するための取組を推進していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの地域での遊び場の拡充をご検討いただけないでしょうか。公園等はあるものの大半が「ボール遊び禁止」で、制限のある中で遊びとなっている。その結果、路上や駐車場等で遊んでいて事故・トラブルになるなどのケースがある。</li> <li>これと併せ、子どもたちの「ネット依存（いわゆるスマホの問題）」も懸念される。本課題への今治市としての捉えや対策等についても示しておく和良好的ではないか。本項目（他項目でも構いません）の記述の中に、ネット依存への対応の内容を盛り込んでほしい。</li> </ul>	小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの遊び場所は、重点方針5の2番目の実施計画として検討します。</li> <li>スマホは、重点方針1の4番目のICT活用指導能力の実施計画として検討します。</li> </ul>	修正しない	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「安全安心な地域の拠点施設及び避難場所等として、公民館等の教育施設」→「安全安心な地域の拠点施設及び避難場所等となる公民館等の教育施設」</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において、公民館活動として体験的な活動が十分に確保できていない状況である。</li> </ul>	中学校	あまり意味が変わると思えないため原案のとおりとします。	修正しない	
	●その他 重点方針3に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の今後の在り方について触れておくのも良いと思う。</li> </ul>	中学校	コロナ禍において社会体育への移行が難しいため時期尚早と考えます。	修正しない	

学校現場から寄せられた教育大綱（案）に対する意見を踏まえた修正（案）について

重点方針		4	現在（案）	●「i.i.imabari!」教育version（郷育(きょういく)）の推進					
				みんなで今治を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信する「i.i.imabari!」キャンペーン。教育分野においても、今治の溢れる魅力を身近に感じてもらえる施策を展開し、ふるさと今治を愛し、今治に夢と誇りを持ち、今治に夢中になる人の輪を広げていきます。					
各施策（項目）		目標とする方向性（修正意見）		学校名	事務局の考え方	対応策	教育委員会での結論		
表題・説明			・「キャンペーン」→「キャンペーンを展開していきます。」 ※（重点方針4）の表題に示されている造語「郷育（きょういく）」について触れる記述があった方が良いと思う。	小学校	既に発信している「キャンペーン」を今後は教育分野においても活用していく意味で、体言止めしています。	修正しない			
			・今治の魅力（海事都市、造船、タオル）などの言葉を入れるとよい。	小学校	産業だけではない。食や景観など他の分野を入れるとわかりにくくなります。	修正しない			
①	○地元産の農林水産物を活用し、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの今治愛の育成に繋げていきます。 <b>【修正案】</b> <b>●地元産の農林水産物を活用し、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの食に対する関心や理解を高めるとともに、子どもたちの今治愛の育成に繋げていきます。</b>	・地元産の農林水産物活用のみで「日本一」につながると捉えられるように感じる。 「業者や生産者との連携」「人材確保」「設備の充実」等の文言は入りませんか。		小学校	「おいしい」とは味覚だけでなく、生産者、事業者、調理員への感謝の気持ち、生産から調理までの過程の勉強を含めた意味で用いており、敢えて地産地消等の文言を入れていません。	修正しない			
		・ただ食べるだけでは今治愛にはつなげることはできないので、「今治愛を育む給食指導の充実」を追記する。 ・給食の時間を見直して欲しい。 ・「おいしい」ではなく「地産地消」という部分をアピールして欲しい。		小学校		修正しない			
		・「日本一」かどうかは評価できない。		小学校	子どもたちが心からおいしい（プラスα）と自賛できることを目指すもの。	修正しない			
		・日本一かどうかは分かりませんが、おいしい給食が提供されていると思います。「日本一」という言葉は重すぎる。担当者は大変だと思う。		中学校		修正しない			
		・「子どもたちの今治愛の育成に繋げていきます。」→「子どもたちの食に対する関心や理解を高めるとともに、今治愛の育成に繋げていきます」 <b>【意見】</b> ・食育指導を継続していく必要がある。		小学校		修正			

②	<p>○産学官の連携を図りながら、一貫したキャリア教育の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、産業教育を推進していきます。</p> <p><b>【修正案】</b> ●産学官の連携を図りながら、一貫したキャリア教育一貫した今治モデル「ふるさとキャリア教育」の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、産業教育を推進していきます。</p>	<p>・「産学官」という表現を分かりやすくする。</p>	中学校	通常用いられる表現です。	修正しない	
		<p>・「産学官の連携を図りながら、一貫したキャリア教育の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、産業教育を推進していきます。」→「産学官の連携を図りながら、一貫したキャリア教育の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、「地域の子どもは地域で育てる」という気運の醸成を図ります。」</p> <p><b>【意見】</b> ・今後も「地域を知る」「地域に学ぶ」「地域に生きる」というテーマの下で、キャリア教育の充実に努めていきます。</p>	小学校	「地域の子どもは地域で育てる」ことは重要ですが、ここでは、地域内雇用により人交流の防止の目的も含めています。	修正しない	
		<p>・「産学官の連携を図りながら、一貫したキャリア教育の充実に努めます」→「産学官の連携を図りながら、一貫した今治モデル『ふるさとキャリア教育』の充実に努めます」</p>	小学校		修正	
③	<p>○コミュニティスクールの充実・発展を図り、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めることにより、一体となって学校教育の質の向上や地域の活性化、児童生徒の健全育成に取り組めます。</p> <p><b>【修正案】</b> ○コミュニティ・スクールの充実・発展を図り、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めることにより、一体となって学校教育の質の向上や地域の活性化、児童生徒の健全育成に取り組めます。</p>	<p>・学校運営協議会が発足して日も浅く、有意義な会のあり方について研修を重ねていく必要がある。</p> <p>・コミュニティ・スクールの充実・発展に向けて、研修会（委員向け、一般の方向け）の在り方について触れておくことも良いと思う。</p>	中学校	実施計画として検討	修正しない	
		<p>・「コミュニティスクール」→「コミュニティ・スクール」</p> <p>・（修正案）「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組の充実・発展を図り、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めることにより、地域ぐるみで教育活動を実施し、全ての子どもの健全育成を支援するとともに、学校を核とした地域づくりを目指します。</p>	小学校	「コミュニティ・スクール」に修正	修正	

④	<p>○見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の歴史・文化を教材にすることで、多くの市民が郷土愛を感じ、地域への誇りが持てるよう、ふるさと教育の充実に取り組みます。</p> <p><b>【修正案】</b></p> <p><b>●見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の自然・歴史・文化を教材にすることで、多くの市民が郷土愛を感じ、地域への誇りが持てるよう、ふるさと教育の充実に取り組みます。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多くの」を削除する。</li> <li>・日本遺産「村上海賊」を重点的に学習する。</li> </ul>	小学校	「多くの」を除けることにより「全市民」とも読めるとも考えられません。	修正しない	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本物の…」とは、どういう意味なのか、具体策を示したほうが良いと思う。</li> </ul>	中学校	「リアル（現実）の」の意味で用いています。	修正しない	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の歴史・文化を教材にする」→「見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の自然・歴史・文化を教材にする」</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然も大切にしたい</li> </ul>	小学校		修正	

学校現場から寄せられた教育大綱（案）に対する意見を踏まえた修正（案）について

重点方針		5	現在（案）	●人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備					
				人生100年時代を迎え、老若男女だれもが文化芸術、スポーツ活動などに親しむことで、自分の可能性を開花させることができるとともに、大きな社会変革を乗り越え、豊かさを次世代に引き継ぐために、みんなが考え、行動することに喜びを感じられるまちづくりを展開していきます。					
各施策（項目）		目標とする方向性（修正意見）		学校名	事務局の考え方	対応策	教育委員会での結論		
①	○文化芸術活動・スポーツ活動を通して、異世代間の交流を深め、様々な目的やレベルに応じて多様な活動を楽しめる環境の整備に取り組みます。	・具体策を示した表現が良いと思う。		中学校	実施計画として検討	修正しない			
②	○公民館及び図書館や文化施設などの運営管理について検討し、利用率の向上、発信力の強化、採算性の向上で、市民に親しまれる施設に再生します。	・具体策を示した表現が良いと思う。		中学校	実施計画として検討	修正しない			
		・「地域の図書館の運営について検討し、利用率の向上を図り、市民に親しまれる施設にする。」にはどうか。		小学校	社会教育施設全般についての指針であり、図書館に限定する表現は難しい。	修正しない			
③	○生涯学習を総合的に推進するために関係機関と連携を図り、生涯学習の充実や人権の尊重などを通じて、世代を超えてみんながつながり、活躍できる地域の基盤づくりに取り組みます。 【修正案】 ●生涯学習を総合的に推進するために関係機関と連携を図り、生涯学習の充実や人権の尊重などを通じてや人権教育を充実させるとともに、世代を超えてみんながつながり、活躍できる地域の基盤づくりに取り組みます。	・具体策を示した表現が良いと思う。		中学校	実施計画として検討	修正しない			
		・「生涯学習を総合的に推進するために関係機関と連携を図り、生涯学習や人権教育を充実や人権の尊重など」→「関係機関と連携を図り、生涯学習や人権教育を充実させるとともに」 【意見】 ・世代を超えたつながり（関わる機会）が今の学生には少ないのではないかと感じる。		中学校		修正			

④	○スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実を図り、みんながスポーツの価値を享受し生活の一部とすることで、ライフステージに応じて、楽しく健康で生き生きとしたスポーツ活動ができる環境の整備に取り組みます。	・「スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実を図り、」→「スポーツを「する」「みる」「ささえる」「知る」機会の充実を図り、」 【意見】 ・スポーツ施設数のさらなる整備と、利用しやすい環境（利用料金や短さ）の整備を希望する。	中学校	文科省の「スポーツ立国戦略」の文言を用いています。	修正しない	
		・生涯にわたってのスポーツの関わり方は、「調べる」の面があってもよい。 「また、「調べる」活動も大切にし、スポーツについて幅広い知識を得るための施設の充実を図る。（博物館等）」を付加する。	小学校	同上	修正しない	
		・「スポーツ」を「スポーツ・文化活動」に変更する。 【意見】 ・スポーツだけでなく、文化活動も整備してほしい。	中学校	総合計画の「スポーツによるまちづくり」に合わせた項目としています。	修正しない	
		・令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行する方針が国から示されている。（学校における働き方改革推進本部） ・スポーツの機会の充実、環境の整備に向けて、スポーツ指導員等の育成、地域と一体となった持続可能な部活動の運営体制について触れておくことが良いと思う。	中学校	ここで部活動に特化した文言をいれるのは難しいので、実施計画として検討します。	修正しない	
		・「ライフステージに応じて、楽しく健康で生き生きとしたスポーツ活動ができる環境の整備に取り組みます。」→「ライフステージに応じて、楽しく健康で生き生きとしたスポーツ活動ができるよう、 <u>機能的な</u> 環境の整備に計画的に取り組みます。」 【意見】 ・スポーツ施設の種類、規模、設置場所、駐車場等に計画性が感じられにくく、市民のスポーツを「する」「みる」「ささえる」等の充実した活動につながりにくい。	中学校	老朽化対策を先行していく必要があります。	修正しない	